



笑顔と感動を届けた☆学習発表会

11月5日（土）、保護者や家族の皆様、学校評議員・学校支援ボランティアの皆様、そして地域学習でお世話になった方々においでいただき、学習発表会を無事に開催することができました。



1・2年「とみはら大すき!かかわりたい」 っぱい発表しました。

今年度のスローガンは「富原のよいところを発表して笑顔と感動を届けよう」。今年度は、どの学級も「富原について学習したこと」を発表の中心に据え、その成果を見ていただく方に分かりやすく伝えることをめざして準備を進めました。

1・2年生の創作劇『とみはら大すき!かかわりたい』は、町探検で出会った富原のお茶作りについて楽しく学習し、その成果を、劇やクイズにダンス・合奏も交えて元気に

3・4年生の創作劇『富原のいいとこみっけ』は、シタケ、銀沫、テッセン、お茶、ピオーネ作りの見学体験をもとに「どうしたら富原の特産物の魅力が伝わるか」を一生懸命考え、子どもたちが台本作りにも取り組み、楽しい劇にして発表しました。

5・6年生の発表『とみはら茶PR プレゼン大会』は、富原茶を作り続けている方々の姿から「自分達にできることはないか?」という思いをもって、PRする動画作りに挑戦しました。地域に貢献したいという思いを楽しい劇に仕立てて発表しました。



5・6年「とみはら茶PRプレゼン大会」

保護者や地域の皆様からは、「どの学年の発表からも富原の魅力が伝わった」「大人でも知らなかったことをよく調べていた」「少ない人数で一生懸命練習してすばらしい発表ができていた」「堂々と演技する姿に感動した」などの感想をいただきました。お茶作りについて教えてくださった方からは「熱心に勉強してくれたことがうれしい」「これを励みにさらに新商品の開発をがんばりたい」とのお言葉もいただきました。

学習して分かった富原のよさを、大勢の方の前で堂々と表現できた子どもたち。一人一人のがんばりとチームワークで大きな行事を乗り越え、また一つ成長しました。保護者の皆様、地域の皆様、いろいろとご協力いただきありがとうございました。



3・4年「富原のいいとこみっけ」



全校合唱「True Garden」

おいしかった焼きいも！

今年度、富原小学校では5月に全校でサツマイモの苗を植えました。10月にはいも掘りを行い、立派なサツマイモがたくさん収穫できました。

そして11月8日（火）、焼きいも集会を行いました。この日のためにたくさん集めておいた校庭の落ち葉を使って、ボランティアの方が火の準備をしてくださいました。児童は、自分でサツマイモを濡らした新聞紙とアルミホイルで包み、業間休みに火の中に投入して、できあがるのを待ちました。焼き上がるまで、ボランティアの方々がずっと火加減を見てくださいました。

そして昼休み。灰の中から取り出してみると、とてもおいしい焼きいもができあがっていました。みんな笑顔で、おいしい焼きいもをいただきながら、楽しいひとときを過ごしました。

振り返れば、畑の準備から苗植え、いも掘り、焼きいもの片付けまで、多くのボランティアの方にお世話になりました。収穫の喜びとともに、地域の方への感謝も改めて感じることできた一日でした。



読書好きな子どもを育てるために

11月10日（木）、読み聞かせボランティア「魔法のポケット」の栗田雅文さん（勝山のカフェ&ギャラリー「てあ」のマスター）が1・2年生に読み聞かせに来てくださいました。

栗田さんの味わい深い語り口を楽しみながら、子どもたちは絵本の世界に入るように、熱心に聞き入っていました。最後の感想発表で、しっかりと自分の感じたことを発表する子どもの姿に、栗田さんも感心されていました。

富原小学校では、月に2回程度、図書館司書の真野先生が来てくださり、図書室の本の整理や読み聞かせをしてくださっています。

たくさん読書をする子どもは、学力も伸びていくと言われています。富原小学校では最近、物語を読む児童が減っているようです。読解力を高めるためにも、読み聞かせをきっかけに、物語の楽しさに気づいてもらえたらと思います。



自ら進んで学び合う子どもを育てるために

11月25日（金）に「富原小学校研究発表会」が行われます。真庭市内の小・中学校からおよそ60人の先生方が、富原小学校の授業の様子を参観するために来校されます。

今年度、富原小学校では生活科と総合の学習で、富原のことについて調べる学習に取り組んでいます。富原には豊かな学習の素材があり、児童は楽しみながら体験したり、進んで調べたりする活動を行ってきました。その過程で、疑問に思ったことを解決しようとしたり、地域のために自分たちができることはないかと考えたりする力も伸びてきています。

11月になってからも、1・2年生と5・6年生は富原製茶組合にお伺いし、お茶作りに取り組む方々のお話をうかがいました。3・4年生は、銀沫（ぎんしぶぎ）の収穫と試食体験、皇子こんにやく作りの見学をさせていただきました。いずれも「富原の魅力や働く人々の思いをもっと知りたい、伝えたい」との思いで行った活動です。



今回の研究発表会では、これらの経験をもとに、進んで自分の考えをもち、友達と伝え合い、自分たちの力でできることを実現していこうとする子どもたちの姿を、多くの方に見ていただけたと思います。

